



皆さんこんにちは。少しづつ秋に近づいてきていますね。
10月といえば、皆さんは何を連想されますか？
本記事では、「10月といえば」から連想する事柄や行事を
まとめてみました。



10月ってどんな月？

10月の呼び名は、神無月(かんなづき)です。

旧暦の10月は、日本中から神様が出雲の国(島根県)に
集まり、
縁結び・収穫・神酒づくりについて相談する月といわれています。
そのため、出雲の国以外では、神様が不在となることから、
「神無月」と読んでいました。



神様が集結する出雲の国では、
10月のことを神無しの反対で「神在月(かみありづき)」
と呼ぶのだそうです。
ですが、梅雨の季節で水が多い6月を「水無月」と呼ぶことから、
神無月に関しても神様がいないということではないという説もあります。
10月には、収穫に感謝して五穀豊穡を祈る神嘗祭が伊勢神宮で行われます。
あらためて神様に感謝する時期を意味しているということだそうです。



紅葉・紅葉狩り

多くの地域は、10月～11月に紅葉の時期を迎えます。
それにしても、「紅葉狩り(もみじがり)」の「狩り」って不思議と思いませんか。
「紅葉狩り」という言葉の意味は、「紅葉を山などに見に出かけること」をいいます。なのに「狩り」って、？
となりますよね。実は「狩り」という言葉には、狩猟・果物の収穫(イチゴ狩りなど)などに使われる以外にも、
「草花を眺めること」の意味にも使われるのです。紅葉狩りの「狩り」は、後者の意味を持っています。

ハロウィン

毎年10月31日は、年々賑やかになっているハロウィンの日ですね。
ハロウィンの由来は、古代ケルト人が行っていた宗教行事が起源と言われています。
この日には、秋の収穫を祝い、
悪霊を追い出すという意味合いがありました。

それが、アメリカで、民間行事として広まるにつれて、
祝祭的色彩は消え去り、現在のハロウィンに姿を変えていきました。
つまり、かぼちゃをくり抜いてつくる「ジャック・オー・ランタン」や、
子どもたちが仮装して近所にお菓子を貰いに行くなど、
今の私たちが知っているハロウィンはアメリカ生まれのハロウィンだったわけですね。



※みなさん、朝晩の温度差で風邪を引かないようにしてください！！
それでは、また次号をお楽しみに！

